

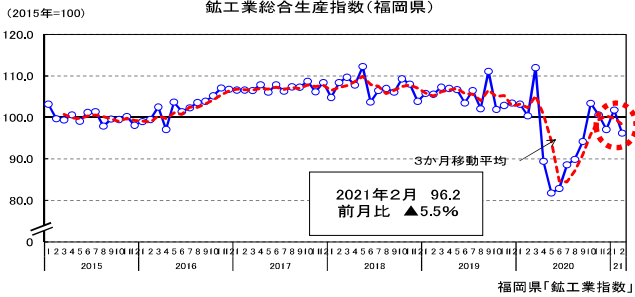


# ふくおかの経済

令和3年4月号

**生産** 持ち直している。

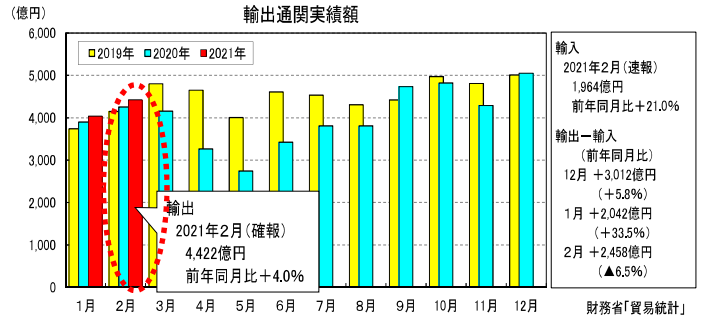
2月の生産指数は、輸送機械工業などの低下により2か月ぶりに前月を下回りました。



鉱工業生産指数は、2015年の生産水準を100として、その変化を表しています。

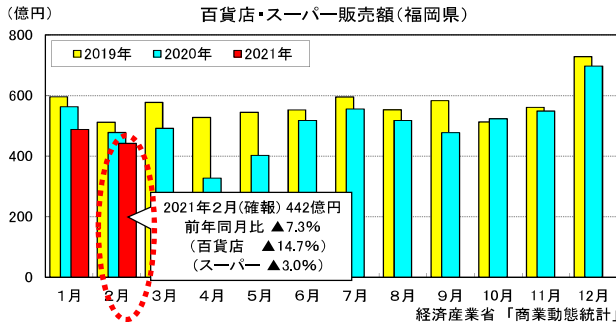
**貿易** 輸出は、持ち直している。  
輸入は、持ち直しの動きがみられる。

2月の輸出は、前年同月比+4.0%と3か月連続で前年を上回りました。



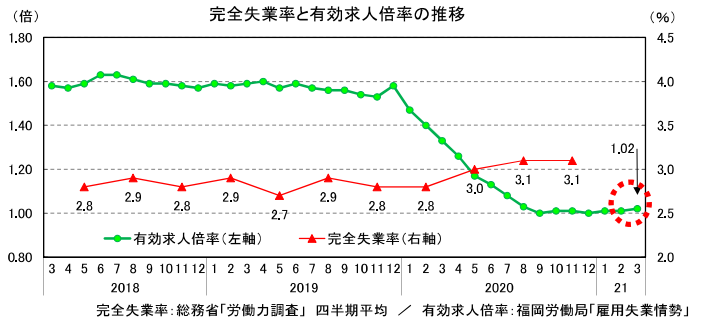
**消費** このところ弱含んでいる。

2月の百貨店・スーパー販売額は、新型コロナウイルス感染症の影響などから、4か月連続で前年を下回りました。



**雇用** 求人改善の動きが見られるものの、厳しさが見られる。

3月の有効求人倍率は1.02倍で、前月を0.01ポイント上回りました。



「仕事を探している人の数」に対する「企業の求人数」の割合が有効求人倍率です。  
1.00倍より大きいと、人手不足を表します。

## 今月のトピック 年代別の新型コロナウイルス感染症の状況 ~若者を中心に続く感染拡大~

○福岡県内で確認された新型コロナウイルス陽性者を、年代別で見ると、20代や30代で、人口割合を上回っています。特に20代では、人口割合は10.4%であるのに対して、陽性者の割合は、24.6%と約2.5倍となっています。それに対して、10歳未満では、同様に比較すると0.3倍となり感染が抑えられていることがわかります(図表1)。

○20代の陽性者割合は昨年4月以来、一貫して人口割合を上回っており、7月には45.3%まで上昇しました。令和3年3月にはほぼ人口割合と同様まで低下したものの、4月に入り再度、上昇しています(図表2)。3月に低下した要因としては、高齢者施設や医療機関におけるクラスターが相次ぎ、陽性者に占める高齢者の割合が高まったことがあげられます。

○昨年は夏にかけて20代の感染割合が急激に増加していますので、一人ひとりが感染を防ぐ取組みを心掛けましょう。

